

# 目で見る 明治大学の歩み

#85



## 第二代

### 阿保浅次郎(1881~1965)



生家近くに立つ墓碑

現在の青森県弘前市出身。1905年明治大学卒業。吉田三市郎・山崎今朝弥(ともに校友)らが設立した日本初の合同弁護士事務所である東京法律事務所で弁護士として活躍した。戦後は東京弁護士会会長、学校法人中野学園理事長など歴任。

(理事長在職1952~1956)

## 学校法人明治大学理事長の系譜

本誌の特集「鶴澤總明と明治大学」に関して、今回は学校法人明治大学理事長のうち初代鶴澤總明から第四代長野国助までを紹介します。

※本コーナーでは再任をカウントせず、理事長職に就任した人物の順番を代としています。

明治大学史資料センター 阿部 裕樹

## 第三代

### 長谷川太一郎(1881~1968)

現在の福島県大沼郡金山町出身。地元で代用教員などを務めていたが法学を志して上京、1911年明治大学卒業(当時30歳)。1913年弁護士試験合格。戦後は第一東京弁護士会会長、初代の最高裁判所判事など歴任。



生家近くに建てられた顕彰碑



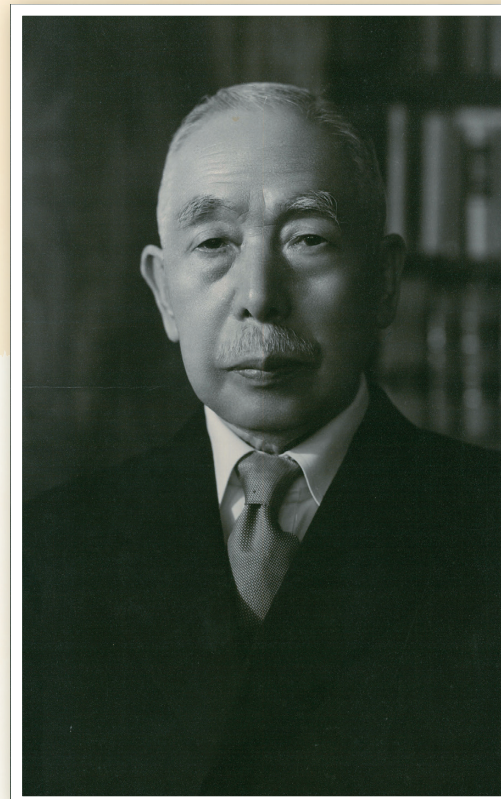
(理事長在職1956~1964)

学校法人明治大学理事長の最初の4名に共通する点として、①弁護士であったこと、②地方出身であったことなどが挙げられます。鶴澤を除く3名は明治大学の卒業生であり、法律学校として開校した本学の歴史から見ると象徴的と言えるかもしれません。

## 初代

### 鶴澤總明(1872~1955)

現在の千葉県茂原市出身。東京帝国大学卒業。法学博士。旧制明治中学校初代校長、旧制明治大学初代法学部長、明治大学総長など歴任。



(理事長在職1951~1952)



茂原市立新治小学校内に建てられた顕彰碑

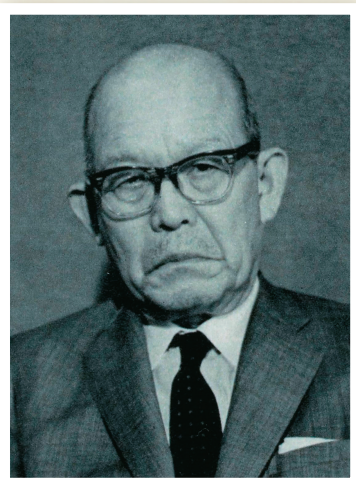
## 第四代

### 長野国助(1887~1971)



今治市内仏城寺に残る位牌

現在の愛媛県今治市出身。呉海軍工廠などで働いた経験がある。上京後は校外生を経て1912年明治大学卒業(当時25歳)。1918年弁護士試験合格。戦後は、日本弁護士連合会会長、東京弁護士会会長、学校法人中野学園理事長など歴任。



(理事長在職1964~1967)